

「アンゴラにおける地雷対策関連会議」

山崎臨時代理大使 スピーチ

Minhas senhoras e meus senhores,

- 1 本日の地雷対策関連会議にあたり、在アンゴラ日本国臨時代理大使として一言ご挨拶申し上げます。
- 2 地雷対策は、人間の安全保障はもちろん、アンゴラ的发展、就中（なにかんづく）、農業開発、インフラ整備、鉱物資源開発にとって不可欠であるところ、アンゴラ政府、アンゴラ国家地雷処理・地雷被害者人道支援調整委員会（C N I D A H）、アンゴラ国家地雷除去院（I N A D）、各地雷除去N G O等の活動に対して深い敬意を表します。
- 3 日本政府としても、アンゴラでの協力における最優先事項として地雷対策への支援に注力してきたところであり、1990年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力やN G O連携無償資金協力等のスキームを通じて、H A L O T R U S T、M A G、ノルウェジャン・ピープルズ・エイド（N P A）等の国際N G Oや日本のN G Oである「日本地雷処理を支援する会（J M A S）」による活動支援を含め、総額約1, 100万米ドル以上の資金を供与してきました。
- 4 これまでの様々な地雷調査・除去活動によりアンゴラ国民の生活環境は少しずつ改善されてきているとはいえ、取り除かなければならない地雷が未だ数多く埋設されています。
- 5 日本には「雨天の友は真の友」という諺があります。翌日の事のみを考えるなら、食べ物をあげます。翌年までを考えるなら耕作を教えます。しかし今後30年を視野に入れるなら教育を優先させます。現下の経済危機の中、日本はアンゴラの真の友として支援を続けることを表明します。
- 6 アンゴラ国民が地雷の心配なく暮らせるよう、関係者の皆様と共に、より一層対話を深めながら、地雷対策支援に引き続き取り組んでいき

たいと思います。最後に、関係の皆様方へ改めて感謝を申し上げたいと存じます。ありがとうございました。

～ 以上 ～